

『輝く雪』のまち

ぬまた町

# みんなの議会

2018年8月  
第74号

みでみて  
すていしよ!

## 第2回定例会 ..... 2

行政報告の後、議案19件を審議しました。核兵器禁止条約の陳情を審査し意見書を提出しました。

## 大沼議員の一般質問 ..... 6



合計特殊出生率を  
持続するための、メンタルケアを含めた支援策の所信を聞きました。

## 視察調査報告 ..... 7

上士幌町と士別市朝日町・美幌町・湧別町を行政視察しました。

# 平成30年 第2回 定例会

## 6月18日

平成30年第2回定例会が行われました。

### 上程された主な議案

◎平成29年度一般会計補正予算の専決処分を承認しました。

29年度予算が最終補正され総額で52億7990万円となりました。

- 減債基金積立 3000万円
- 企業等誘致推進基金積立 1億円
- 商工観光振興基金積立 2000万円

◎平成30年度一般会計補正予算

### 〈主な内容〉

- OA管理費事業委託料 各種ネットワークシステムの更新と改修業務委託料 361万円
- 役場庁舎管理費 庁舎トイレ改修工事 351万円
- 環境衛生費 北空知葬祭組合火葬施設使用料 159万円
- 農産加工場製造費 441万円
- 観光費 恵比島（明日萌）駅修繕 82万円
- 道路橋梁工事 恵比島牧場線道路補修工事 232万円
- 河川工事 アイヌ沢川法面補修工事 4200万円
- 海洋センター費 プール屋根筋交い修繕 25万円

◎条例の改正

国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険税率および限度額が改訂されました。

◎人権擁護委員の推薦

人権擁護委員として、橋英則氏、長谷川忠義氏が推薦されました。

### 第3回臨時会

5月2日

#### 専決処分の承認

町税条例の一部改正（地方税法の改正に伴う改正）

国民健康保険税条例の一部改正

### 第4回臨時会

5月16日

ロータリー除雪車購入事業に係る物品の購入契約の承認

ロータリー除雪車（150cm幅、800t/h、6輪式、油圧チップバック、2人乗り）

2538万円



これで冬は万全

### 第5回臨時会

6月8日

#### 学童保育所費

損害賠償保険及び、疾病費用等補償金

64万円



今回の定例議会の傍聴者は、3名でした。

みなさまの傍聴をお待ちしています。

### 表紙の写真



幌新太刀別川での化石採取会。たくさんの親子の方々が参加していました。

# 議決された意見書

## 核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める

核兵器禁止条約が、2017年7月7日国連会議で国連加盟国の3分の2にあたる122ヶ国の賛成で採択された。

核兵器のない世界を望む国内外の世論に答えて、唯一の戦争被爆国である日本は率先して取り組むべきである。

よって、政府に対し核兵器禁止条約に早急に署名し、批准するよう強く求めた。

## 議会の動き

### 議会広報が入選

6月12日

北海道町村議会議長会の広報コンクールにおいて、「みんなの議会」が入選しました。

平成27年度の特選を受賞して以来の入選です。

審査員からはすっきりとして読みやすいとの評価をいただきました。



### 北空知議会議員研修会と親睦交流会

7月18日  
深川市



1市4町による議会議員研修が深川市において開催されました。午前、深川市リバーサイドパークゴルフ場で親睦パークゴルフ大会を行い、午後は、深川市学びと集いの郷音江広里交流館（旧音江中学校を活用した施設）にて研修会を行いました。(株)WISH SIDE 代表取締役 小賀聡氏による「ICTを活用した地域づくり、まちづくり」と題した講演で今後のICTの活用と、地域コミュニケーションの大切さを事業活動の事例を紹介しながらの大変有意義な講演でした。

### 空知町村議会議長会議員研修会

7月20日  
由仁町 文化交流館ふれ〜る

空知管内14町村による空知議会議長会研修会が由仁町で開催されました。前佐賀県武雄市長の樋渡啓祐氏による『これからの地方行政について』と題し、これからの公共施設のありかたの講演を拝聴しました。武雄市長当時に新図書館構想を立ち上げ、今では多くの市民が年間を通して集まる「武雄市図書館」が誕生するまでの経緯を歯に衣着せぬトークで大変有意義な講演でした。



西日本豪雨災害、心よりお見舞い申し上げます。

## 町長への一般質問

### 問 正規雇用できるように要求を

答 状況を見て判断したい



橋場 守  
議員

税の算定を、国に要求すべ  
きだと思いますが、町長の  
考えを聞きたい。



公務労働者への  
制度化は、昨年の

5月に地方公務員法及び地  
方自治法の一部を改正する

問 労働契約法が、20  
13年度から施行され  
ています。有期  
労働者が5年間  
続けて同じ企業  
に雇用されると、  
正規雇用を申し  
込むことができ  
ます。公務員は  
対象ではないが、  
公務労働者も有  
期雇用ではなく、  
正規に雇用でき  
るようにするべ  
きと思います。



そのためには、  
正規の賃金を払  
えるだけの交付

法律が可決成立しています。  
臨時的任用と会計年度任用  
職員というのが規定されま  
した。平成32年4月より施  
行することになっています。  
町の条例等の整備が必要

町の条例等の整備が必要

なので、先に公務労働者分  
を制度化はできません。  
また、財源措置は未定で、  
今後の状況を判断して、国  
などに要望することがあれ  
ば行いたいと考えています。

### 問 コンパクトエコタウンの 今後と周辺整備は

答 全体の構想を考えて検討していく



小 峯 聡  
議員



コンパクトエコ  
タウン

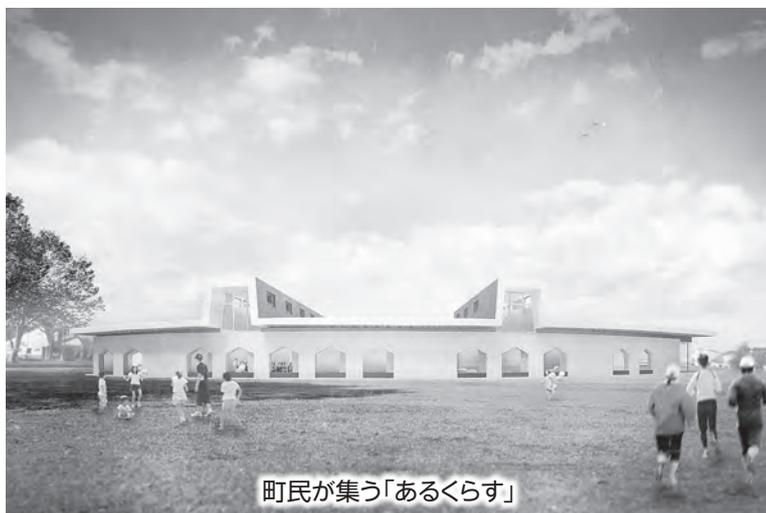
ました。介護予防日常生活  
圏域ニーズ調査を行った結  
果、将来介護になった場合、  
支援住宅に住みたいという  
希望者が40名いました。  
将来は民間事業者の参入  
も予測されます。  
住宅の規模と配置を、今  
年度中に計画をまとめたい  
と考えています。総合計画  
を検討する年ですので、こ  
れらも含めて町民に説明で  
きるように考えています。

### 問

昨年10月にあんしん  
センターが完成して、  
旧中学校の解体も終了しま  
した。社会福祉協議会が移  
動すると車庫が必要になる  
ので中学校の解体後に建設  
すると聞いていました。

コンパクトエコタウン構  
想の全体像が、どのように  
変わり進められているのか、  
現在の構想の状況と展望に  
ついて、周辺整備を含め聞  
きたい。

の今後は高齢者  
の支援ハウスや、  
グループホーム  
など、住居系の  
整備と、周辺の  
環境整備があり  
ます。国の財政  
支援や町の財政  
状況を勘案しな  
がら、将来への  
負担を残さない  
ような形で具体  
的な計画を進め  
たいと思います。  
昨年度、高齢  
者の住宅を中心  
に、内容や規模  
など検討を行い



町民が集う「あるくらす」



**問** JR留萌線の利用促進策を

**答** 再度訴えたい



久保元宏  
議員

どうか。

また、教育委員会は高校生の通学環境を調査しているのか聞きたい。



「スキップ4」

は良く使っていたので、無くなって本当に不便です。再度、話はします。

運行時間については利用しやすくするのもJRの仕事です。しっかりと訴えていきたい。

**教育長**

現役の高校生に時間、路線、

運賃、補助金に対する意見を聞いていますが、教育委員会が独自に通学環境に対しての調査はしていません。高校生を含めたご家族が安心して住める町づくりが必要と理解しています。



**問** 合計特殊出生率を持続するには

**答** 心のケアが大切



大沼恒雄  
議員

金給付より現物給付の方が出生率向上には有効とされています。

出生率を維持するためには、メンタルケアの部分を含めた今後の子育て支援策を聞きたい。

十分あると思います。深川に産婦人科が無いので旭川に行かなくてはなりません。助産師さんや専任の方の確保も難しい状況ですが、どういう体制が良いのか検討して出来るように進めたいと考えています。

**問**

日本の出生率が低い原因として、子どもに掛かる教育費が高いことに起因する生活費不足があげられています。子育てをしながら仕事を続けることに対して社会支援が不十分と言われています。

日本の人口維持に必要な合計特殊出生率は2.08で現在は1.45程度です。北海道が1.31で沼田町は1.88です。

家族関係政府支出では現



母親や家族の心の問題に取り組みないといけないと思っています。

子育てや出産に対する不安、産後産後の心のケアをし、子育てに関する包括的な支援を行っていく必要は



これからの子育て支援に期待



考えよう利用促進策

現状はJR側が利用をしずらくする事によって、沼田町民がJR留萌線を諦めるような誘導をしていないのか。利用が多かった「スキップ4」の復活と深川駅での乗換時間を利用者の実情に合わせるように進言しては

視察報告

地方創生調査特別委員会

上士幌町

7月2日

沼田町議会による地方創生調査特別委員会では今年で最終年度となる「沼田町第5次総合計画」の検証を行い次期計画への意見書を考えています。

今回、人口増加に転じた「上士幌町」の取組について視察して来ました。

少子高齢化の中、将来的な人口減を見据え、ふるさと納税を活用した独自のまちづくりを展開しています。子育てや移住促進政策を通じて、若年層の移住者を増やすなどの取組をしています。

昨年の寄付額は16億7000万円、これまでに60億円を超えています。

それを財源に認定こども園の保育料や高校生までの医療費の無料化、住宅を新築する場合に子ども1人につき100万円を支給する

など、子育て世代に手厚い施策を講じています。

こうした取り組みもあり若年層が多く転入し、更には世代の若返りにつながっています。

地方創生による次のチャレンジは、観光を通じ雇用の促進に観光地域商社を設立し、総合的な観光開発などを手掛けていきます。



上士幌町 地方創生中間まとめ(3年間)

- 人口 104人増
- 合計特殊出生率 1.70
- 高齢化率 35.00% → 34.62%
- 地域経済の活性化 町民の総所得 61.7億円→73.5億円 11.8億円増
- 一人当たりの平均所得金額 255万円→303万円 48万円増
- 雇用の創出  
新会社4社 誘致1社  
農業の法人化による雇用の増加が平均所得と転入者を増やしている

上士幌町ふるさと納税の主な活用時事業

子育て・教育

基金 7億9,500万円  
18事業 1億6,031万円 対象数→800人

健康・安心・いきがい

基金 2億9,100万円  
10事業 8,217万円

総務民教常任委員会

「民族資料の活用」について先進地の状況を把握するため士別市、湧別町、美幌町の視察をしました。

どの施設も町を代表する立派な建物でした。

民族資料はそのまちの歴史であり、次の世代のための地域の資料です。町民にとっては他に代わるものがない貴重な物であり、資料の保管は重要であります。資料を未来へ伝えるために清掃・整理・整頓される状況が必要であると聞かされました。

士別市朝日町

あさひサンライズホール  
郷土資料館 7月5日



年間来館者

サンライズ・28,929人 郷土資料館・2,159人  
◎ボランティアグループ「知恵の蔵」が資料の整理、整頓をしています。子供たちとのコミュニケーションの場となっています。

美幌町

美幌博物館 7月6日



年間来館者 9,323人

◎学芸員が5人配置されています。学校との連携により、授業への乗り入れを行い、歴史と美術にふれやすい環境づくりがされています。



湧別町

ふるさと館JRY(ジェリー) 7月5日



年間来館者 3,523人

◎資料の多くは、他の地域にも類似したものが有るが、町民にとっては、他に代わるものがない貴重なものであり、資料の保管は重要です。

## 津川議員が北海道町村議会議長会表彰

この度、当議会の津川均議員が、勤続表彰を受賞されました。

津川議員は現在4期目で、副議長を2期勤められたことが評価されての受賞となりました。沼田町議会のリーダー的存在です。

定例会本会議前に、議場にて伝達式が行われました。



表彰を受けた津川議員

## 退任議員と親睦パークゴルフ 7月13日

恒例事業となったパークゴルフ大会が開催されました。

開会式での、山木一男会長の「親睦優先」との言葉とは裏腹に、ゲームが始まると熱い戦いが繰り広げられました。結果は次のとおりです。

- 優勝 津川 均
- 準優勝 山木 一男
- 3位 吉田 好宏



スタートホール…マジです

## みんなの広場

### 忙しい夏…



沼田町商工会女性部 部長 三浦 実希

今年4月に沼田町商工会女性部長となり、先ずは女性部活動の中で大きな事業であります商工会青年部との共催チャリティービールパーティを、皆様のご協力のもと無事終わることができ安堵しているところです。

しかし落ち着く間もなく、短い夏のイベントや事業は目白押しで次々と開催されます。年に3回から4回開催されます「にぎわい夕市」でのコストコ屋台の出店、商工会青年部「いこいの広場」での100円カレーのお手伝い、商工祭りである納涼盆踊りなどなど…

そしてもちろん、夜高あんどんの製作や踊りでの参加もあります。JA北いぶき女性部沼田支部との合同事業は全国的にも珍しく、豪華絢爛・喧嘩祭りの先頭に華をそえる「夜高おどり」として、毎年お披露目させていただきます。

忙しい毎日ではありますが、部員の皆さんと自分たちも楽しみながら、和気あいあいと活動していこうと頑張っています。

「活気のある町は女性がパワフルで生き生きしてる!」とよく耳にします。私たちの笑顔が沼田町の元気に、少しでもお役に立てればと思っています。

今後とも皆様のご協力とご指導を、よろしくお願いいたします。



夕市にぎわいコストコ屋台

## あとかぎ

一年ほど前の議会広報のあとがきに、「転入者が転出者を上回る転入超過を目指したい」と書きました。平成29年度中における人口の社会増減は14人増、自然増減は48人減とのこと。年度ベースで社会増減がプラスになったのは、平成12年以來で17年ぶりです。人口対策に特効薬はありません。移住定住の施策と子育て支援の施策を上手く組合せ、生産世代の転入を促したいものです。

私の家の前を、こども園に行く親子連れが毎朝通ります。名前を存じ上げない人が、増えたような気がします。私たち町民が出来る、身近な移住定住支援は、朝の元気を挨拶だと思えます。移住してきてくれた人達に優しい、あたたかい町でありたいと思う。

### 広報特別委員

大沼恒雄 高田 勲  
小峯 聡 長原 誠  
鵜野範之